

新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画  
平成24年度実施結果について（上下水道局）

1 趣言

新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画の平成24年度実施結果として、上下水道局の施策評価結果を取りまとめました。

2 新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画 平成24年度実施結果（概要）

1 政策体系に位置付けられた施策課題の実施結果

第3期実行計画に位置付けられている242の施策課題（再掲を除く。）のうち、上下水道局が所管する施策課題は8課題あり、それらについて平成24年度の施策評価を行った結果、どの施策課題も、「施策の目標」の実現に向け、施策は順調に推進したという評価となりました。

内訳としては、施策が順調に推進したものが8課題、そのうち新たな課題等がないものは7課題、新たな課題等があるが今後も現在の取組の継続等により対応できるものは1課題ありました。

表1 達成状況区分別 施策課題数と構成比（上下水道局）

| 評価区分 | 内 容  |   | 施策課題数 | 構成比(%) |
|------|--|---|-------|--------|
| A    | I  | ●「施策の目標」の実現を阻害するような新たな課題や残された課題等はなく、「施策の目標」に向かって順調に進捗している場合             | 7     | 87.5   |
|      | II   | ●新たな課題や残された課題等があるが、「施策の目標」の実現を阻害するようなものではなく、今後も現在の取組の継続又は一部改善により対応できる場合 | 1     | 12.5   |
| B    | 【施策が一定程度推進したもの】<br>●新たな課題や残された課題等があり、「施策の目標」の実現に向けて、計画の見直しや取組の改善が必要な場合<br>●施策課題の配下の主要な事務事業で、新たな課題等があり目標を下回る事などにより、課題解決が一定程度に留まり取組の見直しが必要な場合                              |   | 0     | —      |
| C    | 【施策が推進していないもの】<br>●前提としていた諸条件（法制度等）が大きく変化し、取組内容の抜本的な見直しを行わなければ、「施策の目標」の実現が困難な場合<br>●施策課題を構成する主要な事務事業が、新たな課題の出現により大幅に遅れ、または、対応困難なものとなるなど目標を大きく下回ることとなり、施策課題の解決に向け停滞している場合 |   | 0     | —      |
| 合 計  |  |   | 8     | 100.0  |

2 主な施策の実施結果について

- (1) 【安定給水の確保と安全性の向上】・・・<別冊1：(96頁)> 施策評価結果：A I
- (2) 【水道事業の効率的な経営】・・・<別冊1：(100頁)> 施策評価結果：A I
- (3) 【工業用水の安定供給】・・・<別冊2：(32頁)> 施策評価結果：A I
- (4) 【雨水の適正な処理】・・・<別冊1：(54頁)> 施策評価結果：A I
- (5) 【下水道施設の整備と適切な維持管理】・・・<別冊1：(102頁)> 施策評価結果：A I
- (6) 【下水道事業の効率的な運営】・・・<別冊1：(104頁)> 施策評価結果：A I
- (7) 【上下水道使用者のサービスの向上】・・・<別冊1：(98頁)> 施策評価結果：A II

第 3 期実行計画 平成 2 4 年度実施結果説明資料

平成 25 年 8 月  
上下水道局

# 安定給水の確保と安全性の向上 ① (水道・工業用水道事業)

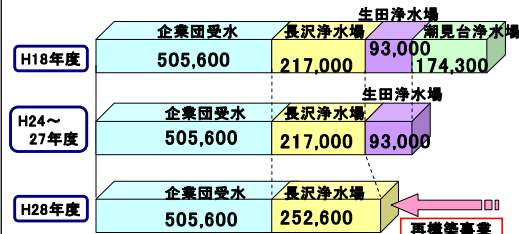
## ●水道事業、工業用水道事業の再構築計画

### ■水道事業の再構築計画 (H18~28年度)

- 将来の水需要予測に基づく適正な事業規模への見直し
  - ・給水能力を989,900m<sup>3</sup>/日から758,200m<sup>3</sup>/日へダウンサイジング
- 安定した給水を確保した上で長沢浄水場に浄水機能を集約
  - ・潮見台浄水場は配水池・送水ポンプ所を存続させH24年度から廃止
  - ・生田浄水場はH28年度から浄水機能廃止

#### ・給水能力の見直し

計画時の給水能力 989,900m<sup>3</sup>/日



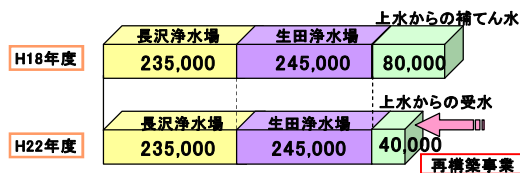
将来の給水能力 758,200m<sup>3</sup>/日

### ■工業用水道事業の再構築計画 (H18~H28年度)

- 将来の契約水量に見合った給水能力の確保
  - ・給水能力を560,000m<sup>3</sup>/日から520,000m<sup>3</sup>/日へダウンサイジング
  - ・生田浄水場は工業用水専用の浄水場としてH28年度より運用
  - ・長沢・生田浄水場に調整池を築造し、中間配水所をコンパクト化

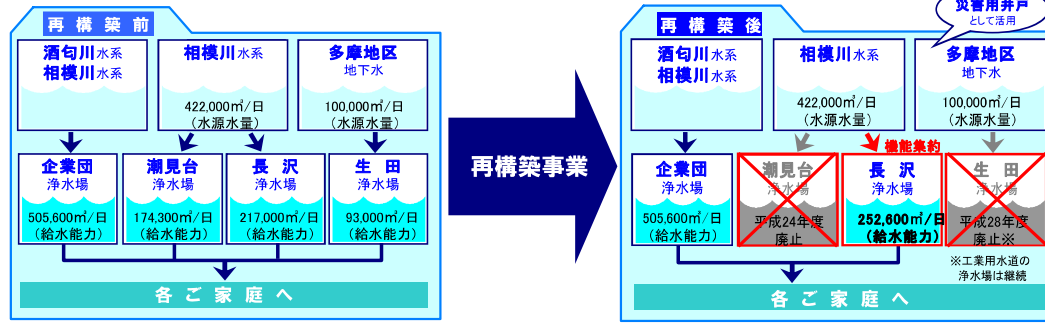
#### ・給水能力の見直し

計画時の給水能力 560,000m<sup>3</sup>/日



現状の給水能力 520,000m<sup>3</sup>/日

### ■水道事業の浄水機能の集約



### ■相模川水系



### ■生田さく井



### ■福田取水所



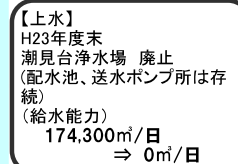
### ■生田浄水場



### ■企業団受水



### ■潮見台浄水場



### ■長沢浄水場



### ■中間配水所



●: 企業団からの受水地点

# 安定給水の確保と安全性の向上 ② (水道事業)

## 施策の目標

- 将来の需要に見合った事業規模への再構築を推進
- 再構築計画・10ヵ年施設整備計画に基づく効率的・効果的な施設更新・耐震化を推進

## 現状と課題

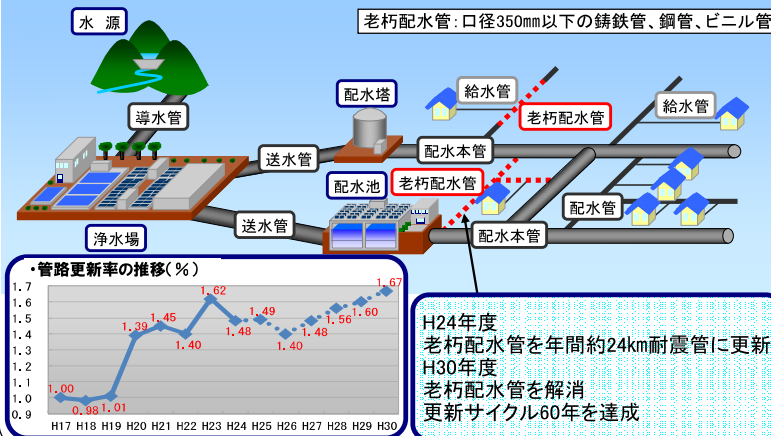
- 再構築計画に基づきH24年度から潮見台浄水場廃止、長沢浄水場第1期工事が完了しH25年4月に通水開始
- 基幹構造物の施設整備にあたり工事時期を考慮し、安定給水及び安定供給に支障のない計画的な取組が必要
- 管路更新については事業量・事業費を平準化し、財政収支計画等に大きな影響のないよう計画的な取組が必要

- 施設の耐震化と再構築の推進
- 安定給水に配慮した計画的な施設整備

- 長沢浄水場
- ・再構築計画に基づく施設能力の増強と耐震化を目的とした更新



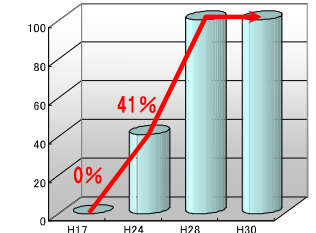
- 老朽配水管の更新 (川崎市内全域)
- ・10ヵ年施設整備計画に基づく更新



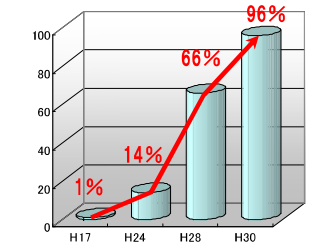
- 第1~3期実行計画の成果と計画目標

- 再構築計画及び10ヵ年施設整備計画に基づく効率的・効果的な施設の更新・耐震化を実施

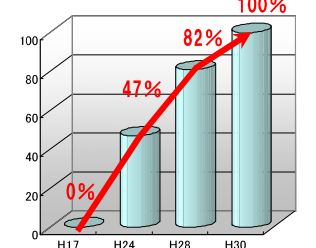
- ・浄水施設耐震率 (%) 100% 100%



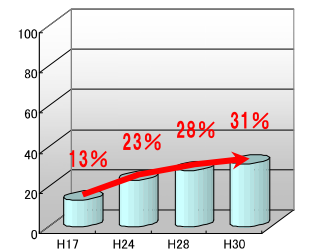
- ・配水池、配水塔耐震施設率 (%)



- ・老朽配水管更新目標達成率 (%)



- ・管路の耐震化率 (%)



- 黒川配水池
- ・10ヵ年施設整備計画に基づく耐震化



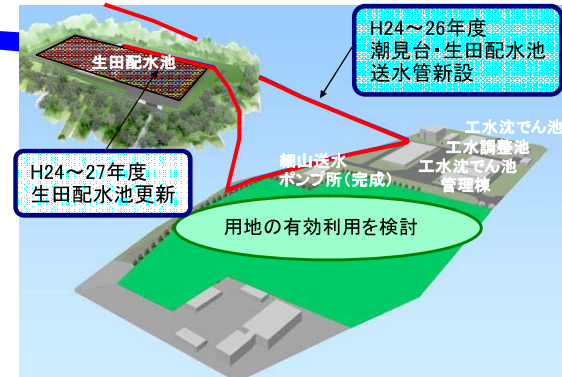
- 鷺沼配水池
- ・10ヵ年施設整備計画に基づく耐震化



- 末吉配水池
- ・10ヵ年施設整備計画に基づく更新



- 生田浄水場
- ・再構築計画に基づく送配水施設の更新



- 2号配水本管 鶴見川水管橋
- ・10ヵ年施設整備計画に基づく耐震化



# 安定給水の確保と安全性の向上 ③ (水道事業)

## 施策の目標

- 自助・共助・公助の3つの助け合いによる災害時対応力の強化を推進
- 供給ルートが耐震化された市立小中学校等へ開設不要な応急給水拠点の整備を推進
- 自主防災組織等による災害対策用貯水槽を活用した応急給水活動の推進

## 現状と課題

- H25年度に市立中学校、救急医療機関などへの耐震管路整備が完了
- 応急給水拠点の確実性、利便性を高めるため新たな応急給水拠点による拡充が必要
- 大地震等の災害発生時には職員参集が十分でない状況が想定されるため、地域の自主防災組織等の協力が必要

## これまでの取組み

### ■ 広報活動

各家庭の取組みとして、生命維持に必要な「1人1日3リットル3日分」を備蓄する広報の推進



### ■ 災害対策用貯水槽の整備

H24年度中野島小学校1基設置完了



H24年度  
全31箇所完了

### ■ 応急給水拠点の設置

H24年度7箇所、計135箇所整備完了



H25年度  
全138箇所完了

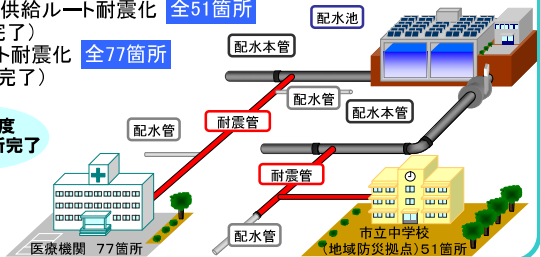
### ■ 市立中学校、医療機関等の重要な拠点への供給ルート耐震化

- 市立中学校(地域防災拠点)への供給ルート耐震化 全51箇所 (H24年度4箇所、計45箇所整備完了)
- 重要な医療機関等への供給ルート耐震化 全77箇所 (H24年度11箇所、計61箇所整備完了)

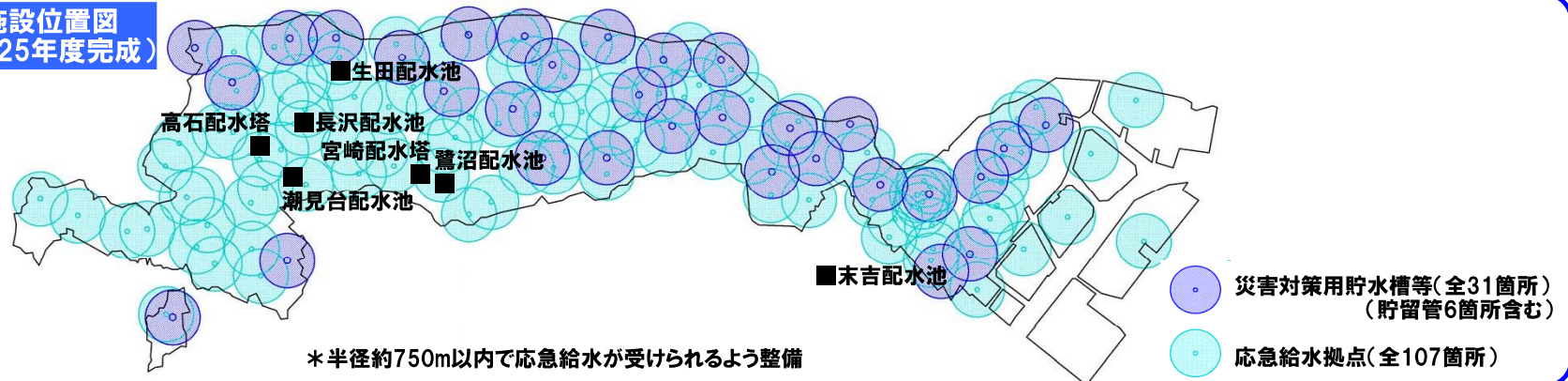


H25年度  
全128箇所完了

吊り上げても抜けない耐震管



## ● 応急給水拠点等の施設位置図 (応急給水拠点平成25年度完成)

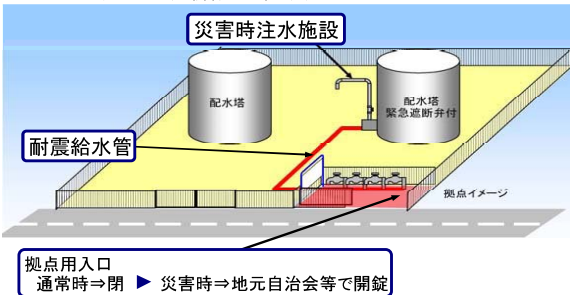


### ■ 開設不要型給水拠点の整備(その1)

#### ・災害時注水地点併設

配水池、配水塔を利用した開設不要な新たな給水拠点の設置 (注水地点併設型7箇所)

H26~30年度

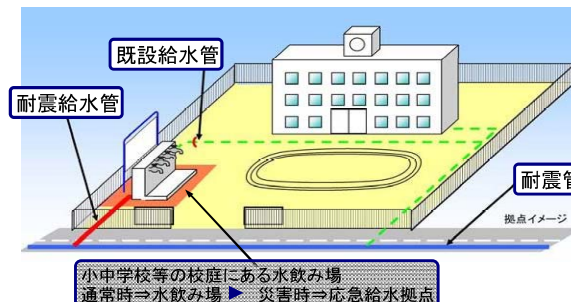


### ■ 開設不要型給水拠点の整備(その2)

#### ・供給ルートの耐震化が完了した小中学校等

小中学校等の既設給水栓を利用した開設不要な新たな給水拠点の設置

H26年度~



### ■ 被災時の災害対応能力の向上

#### ・市民と協働した被災時の対応研修

災害対策用貯水槽が設置されている応急給水拠点25箇所について、組立て・給水研修(体験研修含む)を1拠点につき年1回以上実施

H24年度~



# 工業用水の安定供給

## 施策の目標

- 再構築計画・10ヵ年施設整備計画に基づく効率的・効果的な施設更新・耐震化を推進
- 工業用水の安定供給を継続

## 現状と課題

- 再構築計画に基づき、H24年度末に生田浄水場ポンプ施設等が完成し、H25年4月より送水開始
- 基幹構造物の施設整備にあたり工事時期を考慮し、安定給水及び安定供給に支障のない計画的な取組が必要
- 管路更新については事業量・事業費を平準化し、財政収支計画等に大きな影響のないよう計画的な取組が必要

- 施設の耐震化と再構築の推進
- 安定供給に配慮した計画的な施設整備

### ■ 稲田取水所 ・再構築計画に基づく施設の更新



### ■ 長沢浄水場 ・再構築計画及び10ヵ年施設整備計画に基づく耐震化



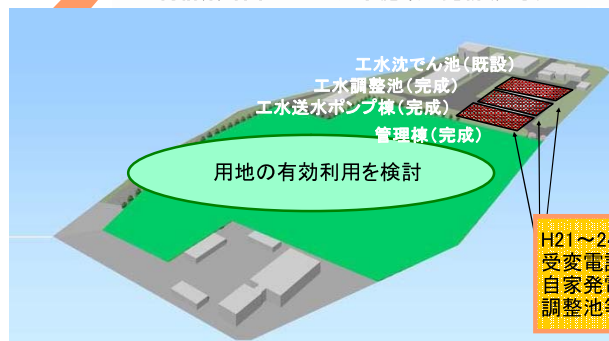
### ■ 工水1号、2号、3号送水管

長沢浄水場、生田浄水場から工場などが多く立地した臨海部へ3本の送水管による安定供給

### ■ 凡例(契約会社・工場 59社81工場)



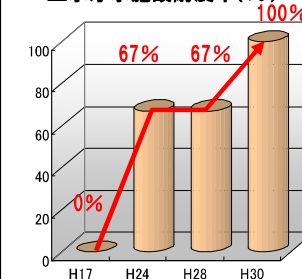
### ■ 生田浄水場 ・再構築計画に基づく送水施設の更新(完了)



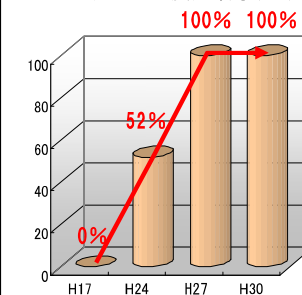
## ● 第1～3期実行計画 の成果と計画目標

■ 再構築計画及び10ヵ年施設整備計画に基づく効率的・効果的な施設の更新・耐震化を実施

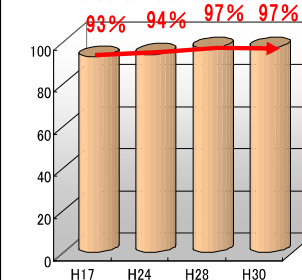
### ・ 工水浄水施設耐震率(%)



### ・ 工水調整池耐震施設率(%)



### ・ 工水管路の耐震化率(%)



# 下水道施設の整備と適切な維持管理

## ●施策の目標（基本構想・下水道事業中期経営計画）

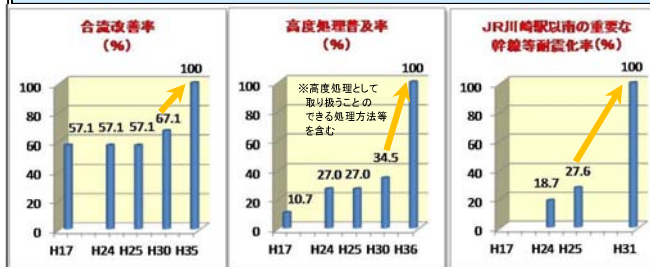
《基本方針》 ●下水道施設・機能の維持向上を図る  
●経営の健全化に向けた取組を推進する

- ◆安全・安心に暮らせるまちづくり  
.....【地震対策・浸水対策】
- ◆快適で暮らしやすい地域環境の創造  
.....【高度処理・合流改善・普及促進】
- ◆持続可能な下水道に向けた取組の推進  
.....【再整備再構築・温暖化対策】

## ●現状の課題と対応方針

- 大規模地震発生時でも下水道機能が維持できるように、重要な管きょ・施設に重点化を図り耐震化を推進
- 局部的集中豪雨など近年の降雨にも対応するため、浸水実績を勘案した効率的・効果的な浸水対策を推進
- 法令等で目標が定められている合流改善や高度処理について、計画的な取組を推進
- 下水道施設の予防保全的な維持管理や長寿命化対策により、適切なストックマネジメントを実現
- 下水道未普及箇所への解消に向け、土地区画整理事業等他事業と連携した取組を推進
- 地球環境に配慮した下水道を目指し、省エネ機器の導入や再生可能エネルギーの活用などを推進

## ●第1～3期実行計画期間中の主な取組の進捗と目標



## ●下水道事業の主な取組①（合流改善・高度処理・浸水対策・下水道整備など）

**登戸地区浸水対策**  
(対象面積: 239ha)  
(H20~H25)  
●H24年度 施工内容  
雨水管φ300~2,000mm  
L=1,137m (うち722m 完成)

**宿河原地区浸水対策**  
(対象面積: 124ha)  
(H20~H24)  
●H24年度 施工内容  
雨水管φ250~1,000mm  
L=942m 完成

**高度処理施設の整備の推進**  
【等々力水処理センター-高度処理】  
脱窒ろ床施設・反応タンク改造・流量調整池の整備  
(H26~H36)  
●H24年度 基本設計

**丸子地区浸水対策**  
【シールド工事 φ2.4m L=1,836m】  
(対象面積: 157ha) (H23~H28)  
●H24年度 施工内容  
立坑基礎整備完了  
シールド工(一次覆工) 着手

**大師河原地区浸水対策・合流式下水道改善施設の整備の推進**  
【大師河原貯留管整備事業】  
【φ5.0m L=2,046m 貯留量 35,600m<sup>3</sup>】  
(対象面積: 376ha) (H20~H30)  
●H24年度 施工内容  
シールド工(一次覆工) 完成  
シールド工(二次覆工) 着手  
送水ポンプ棟  
杭基礎工事 φ1,400mm 110本 (うち101本施工完了)  
躯体築造工事 着手

**高度処理施設の整備の推進**  
【入江崎水処理センター-西系再構築事業】  
【処理能力 129,000m<sup>3</sup>/日】 (H24~H29)  
●H24年度 施工内容  
沈砂池管理棟  
杭基礎工事 φ600mm 239本 完成  
躯体築造工事 着手  
第2期工事  
杭基礎工事 φ800mm 629本 着手 (うち40本施工完了)

**宮崎地区浸水対策**  
(対象面積: 192ha)  
(H21~H25)  
●H24年度 施工内容  
雨水管φ250~800mm  
L=1,833m (うち1,456m 完成)

**馬絹地区浸水対策**  
(対象面積: 20ha)  
(H21~H27)  
●H24年度 施工内容  
雨水管φ250~φ900×900mm  
L=2,415m (うち810m 完成)

**久末地区浸水対策**  
(対象面積: 55ha)  
(H22~28)  
●H24年度 施工内容  
雨水管φ250~1,500mm  
L=788m (うち229m 完成)

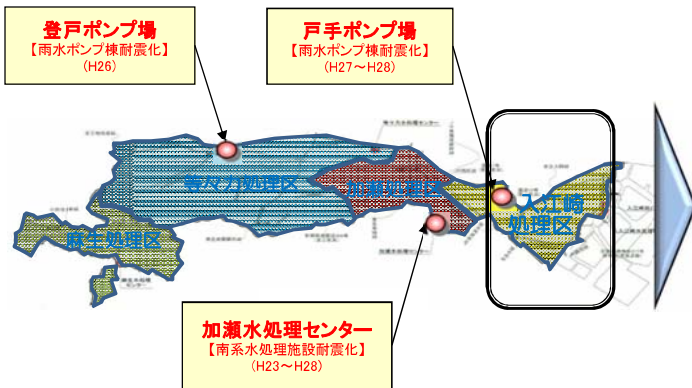
**合流式下水道改善施設の整備の推進**  
【京町・観音川・大塚ポンプ場  
夾雑物除去スクリーン設置】  
(H26~H28)

**凡例**

- 浸水対策  
合流改善
- 高度処理
- 下水道整備
- 浸水対策実施中
- 浸水対策実施済み

# 下水道施設の整備と適切な維持管理

## ●下水道事業の主な取組②（地震対策・災害への備え）



### 管きよ再整備・地震対策の重点的な取組み地域

老朽管が多く地盤の液状化による被害が想定されている  
JR川崎駅以南の重要な幹線等に重点化を図り耐震化を推進

【その他の地域の重要な幹線等の耐震化について】  
その他の地域(JR川崎駅以北)についても、平成31年度までに耐震診断を完了させ、耐震化工事が必要な箇所を抽出した上で、重点化区域に引き続き、効率的・効果的に耐震化を推進

